

公益財団法人 檜の芽会 御中

伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 7 年 3 月 21 日
② 法人・団体名	特定非営利活動法人 フェアネス・ラボ		
③所在地	〒177-0042 東京都練馬区下石神井 1-2-2 セントリーフ千川 201 号		
③ 責任者氏名	丸山史子	(役職名等)	代表
④ 担当者氏名	野田紅葉	(役職名等)	事務職・学習指導員指導長

【奨学活動の概要】

⑤ 助成交付決定番号	R06-010	⑥ 助成金額	90 万円	⑦ 申請カテゴリ	D
⑧ 奨学活動名	学習支援活動 フェアネス スタジオ				
⑩主な実施場所	石神井公園区民交流センター 練馬区立大泉中学校セミナーハウス				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

練馬区立石神井公園区民交流センターにおいて、木曜日に、18 時から 22 時の時間帯で、継続して学習支援の活動を行いました。練馬区社会福祉協議会、練馬区スクールソーシャルワーカーの見学会及びご紹介頂いた保護者への説明会を 2 か月に 1 回程度の頻度で行いました。それにより、当活動に毎回参加する生徒の数も徐々に増え、隔週およびランダムに出席する生徒も増えつつあります。活動内容については、前年度と同様に、大学生は TOEIC 受験に対する対策を、高校生は大学受験及び定期テストの対策を行っています。また、中学生は英数の定期テスト対策や高校受験対策、英検対策を行っています。学習支援の成果も現れ、受験合格者も前年度に比べて増えており、私達のみならず、子供たちの励みにもなっています。

練馬区立大泉中学校セミナーハウスにおいての活動は、前年度より継続して、水曜日に 19 時から 20 時半の時間帯で学習支援の活動を実施し、現在練馬区立大泉中学校の生徒及び、練馬区スクールソーシャルワーカーの方々からご紹介いただいた生徒が、毎回平均 15.6 名が出席し、学習支援を行っています。支援内容については、定期テスト対策及び補習等を各生徒に合わせて行っています。今年度卒業生においての都立高校、私立高校の入試に関しても、当学習指導員及び生徒一丸となって大変な時間を費やし、目標点数獲得を目指しました。良い結果が出るものと信じております。昨年度練馬区立大泉中学校より依頼され、参加いたしました、夏期補習授業の評価も頂き、令和 7 年度においての教育委員会主催による地域未来塾活動の参加依頼へと結びつきました。これは、令和 6 年度の当団体の活動の更なる広がりのための、大変大きな成果の一つでありました。今後もより一層の努力をしてまいります。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	360	2	720	
高校生等	96	3.5	336	
大学生等	48	3.5	168	
学習支援員等	144	3	432	
その他	48	2	96	
合 計			1752	平均時間は 1 週間当たりの数値 延べ人数は 6 か月分

令和 6 年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：学習支援活動 フェアネス スタジオ

法人・団体名：特定非営利活動法人 フェアネス・ラボ

作成者 氏名：事務職・学習指導員指導長 野田紅葉

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

取り組んだ課題に関して、令和 6 年度活動報告につきまして、本法人は、様々な理由によって学習支援を必要とする子どもたちへ、本法人が行っている学習支援活動の認知を広めることに取り組みました。

まず、令和 6 年度のセミナーハウスの活動におきまして、練馬区立大泉中学校の校長、副校長をはじめとする職員の皆様に、我々の活動目的および内容の認知として、口頭及び年 4 回制作しています活動フライヤーの生徒への配布等の実施を継続しました。特に本法人が重視した認知活動につきましては、夏休みに行われる補講授業にきた生徒への支援を依頼され、約 10 日間にわたり、職員の先生方と共に実施したことです。そこにおいて、補講を必要とする生徒の学習レベルおよび必要とされる支援の内容を精査し、今後のセミナーハウスの学習支援活動につなげることが出来ました。その結果、令和 7 年 1 月に行われます冬季補習の参加も依頼され、教育委員会主催の地域未来塾への参加依頼を受けられたことは、本年事業および将来への大きな活動の支えとなりました。現在各学年の支援を必要とする生徒が集まりつつあることは、本法人の学習指導員による努力の賜物でもあると、感謝しているところです。

次に、石神井公園区民交流センターにおける活動では、従来行ってきました学習支援活動の継続的实施を行い、現在、大学受験を目指している高校生への指導を中心に、中学生への学習指導・高校入試指導も視野に入れて活動を行っております。また、練馬区社会福祉協議会よりご紹介いただいた、ディスレクシアの子どもたちの英会話指導も徐々に実を結び、子どもたちも楽しく英会話活動に参加し、保護者の方々からの良い評価を頂いておりますことは、担当支援員の大変な励みになっております。子どもたちにより広い世界を知ってもらうための今後の大きな柱となると思います。

2. 実施した奨学活動の詳細

練馬区立大泉中学校セミナーハウスにおける学習支援活動

① 活動内容の詳細

活動への認知の実施

- ・教員の方々へ、本法人の活動の密なる連携
- ・年 4 回を目標とするフライヤー制作および生徒への配布のお願い
- ・本法人の認知活動の一環として、夏休みに行われた補講授業の指導にての参加

練馬区立大泉中学校セミナーハウスにおける活動

- ・中学 1～3 年生の参加者について、定期テスト対策

(各生徒 10～15%の点数 UP が報告されており、活動目標も達成されつつある。

特に、本年度高校受験に合格した生徒の支援を行ったことは、メンバー一同にとって大きな達成感を得ることができた。令和 6 年度では、5 名の合格者が出たことは、大きな成果でした。)

- ・各学年の教員とのセミナーハウス参加生徒の共有課題についての経過報告等
- ・セミナーハウスにおける学習支援に参加した各生徒の家庭との指導内容報告及び家庭における生徒との関わりについての相談等

② 参加人数

各回平均 15.6 名

③ ご協力いただいた関係者様

校長先生・副校長先生をはじめとする練馬区立大泉中学校の教職員の皆様方
練馬区立学校教育支援センター スクールソーシャルワーカーの皆様方
各ご家庭の保護者様

石神井公園区民交流センターにおける学習支援活動

① 活動内容の詳細

活動への認知の実施

- ・年4回を目標とするフライヤー制作および子どもたちへの配布
- ・スクールソーシャルワーカーの方々への2か月に1回の説明会（ご依頼の都度）

石神井公園区民交流センターにおける活動

- ・中学1～3年生および高校生の参加者について、定期テスト対策および、高校・大学受験対策

（学習することの意義を見出してくれた子どもたちの受験目標となる高等学校及び大学のレベルが上がってきたことが結果として見られ、これは、本法人の活動意義として重きを置いていたため、その結果を大変うれしく受け止めております。）

- ・社会福祉協議会からご紹介いただいた、ディスレクシアの子どもたちのより豊かな社会生活を送るための英会話学習の継続および研究

② 参加人数 7名

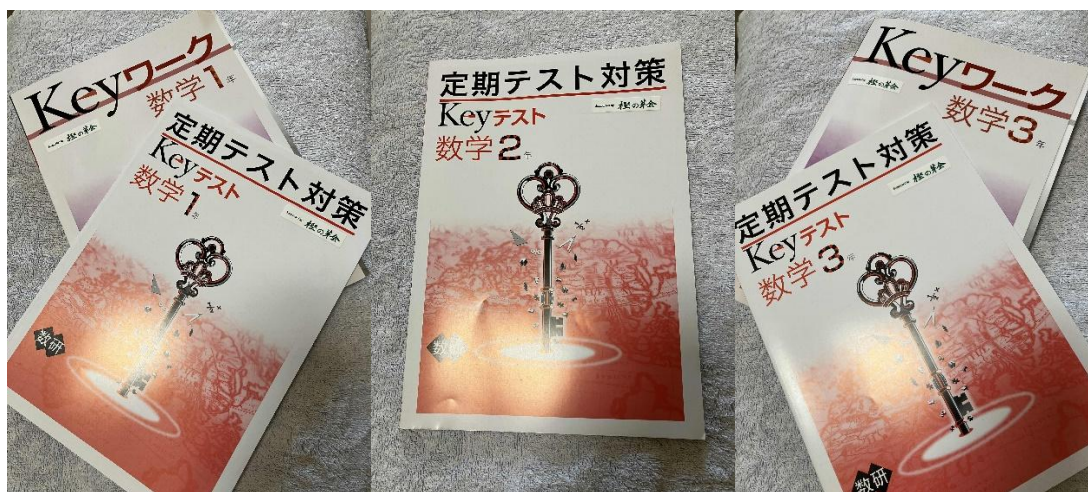
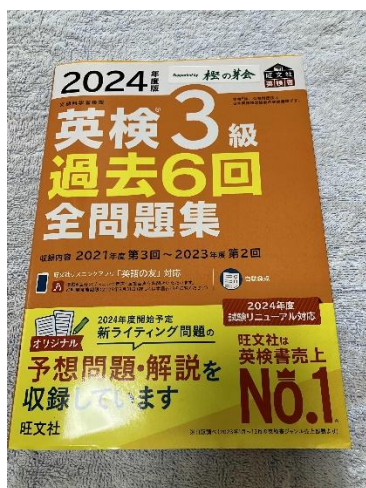
③ ご協力いただいた関係者様

各ご家庭の保護者様
練馬区社会福祉協議会の担当者様
練馬区立学校教育支援センター スクールソーシャルワーカーの皆様方

学習支援員について

現在、現役大学生を含む6名にお手伝いいただいております。大変まじめに学習支援の活動に取り組んでもらっていますが、少しずつ増えつつある子どもたちの状況を見据えると、支援員の人数の増強は考えざるを得なくなると予想しています。また、子どもたちのそれぞれの学習課題の多様化に対応するための支援員とのコミュニケーションの強化を図る必要もあるとも考えております。現状は支援員の役割及び活動に、子どもたちを含め非常に満足しており、それが今後の本法人の活動の発展の大きな原動力となっていることは大変感謝に値するものであるため、今後とも各支援員への、団体としての支援の補強をより充実したものとしていく必要があるものと、大きな課題として受け止めております。

購入した物品





以上、助成金により購入させていただきました。また、子どもたちに配布したため、写真を撮ることができなかったワーク等もございますので、ご報告申し上げます。



以上、年四回予定しておりますフライヤーは、大泉中学校長よりお許しを得て、今回より、全校生を対象に、学校より各家庭に送付していただくことになりました。

令和6年度に配布したフライヤーのうち、既に配布された3回分は、この2種類のデザインを元に製作しました。背景色を変えて用意したものがございましたが、大変好評であったため、現在手元にありませんので、こちらでご報告させていただきます。

4回目はまだ作成されていないのですが、この2種類の色を変えたものを配布予定です。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

昨年度檜の芽会様から助成金をいただき、本活動の推進のために使わせていただきましたことを、メンバー一同大変ありがたく感謝申し上げます。おかげさまで現在活動が少しずつではありますが、計画に沿って進めることができ、また、学習支援を受けに来てくれる子どもたちも大変喜んで、まじめに参加してくれていることをありがたく思います。その中で、私たち NPO 法人フェアネス・ラボが、大変うれしく感じられたことが、子どもたちの日々の成長と楽しそうな笑顔でした。この笑顔は、間違いなく子どもたち一人一人が自信をもって一歩歩み始めることができた証ではないかと我々は結論づけました。各定期テスト対策として使わせていただいておりますワーク等のおかげで、テストの点が伸び、私達も大変うれしく思うと同時に、子供たちもますます勉強が楽しくなって、毎週元気な顔を見せ続けてくれています。特に、保護者の方々の注目度も年々高まってきていることに、一同驚いている次第です。

セミナーハウス、石神井公園区民交流センターにおける活動当初は、スタッフ一同、様々な個性を持っている子どもたちと、気持ちよく、楽しく、勉強をすることに大変気を遣っておりましたが、令和6年度におきましては、次の課題として、一人一人の個性を生かした学習支援の活動を目指すことの必要性に気づきました。そのために、個々の子どもの個性に合った教え方を研究し、能力を伸ばしていく方法を日々模索しています。教える側の大きな役割として、子どもを育てていくことを改めて今後の課題と考えております。

反省点といたしましては、参加してくれる子どもたちをより知るための時間を多くとってしまい、学習支援を行う時間が減ってしまっているのではないかとという点です。また、子どもたちの求めている学習支援に対して、より効果的かつ内容を伴った勉強方法の確立への努力をしていかなければならないという反省点も得ることができました。今後の課題として、これらの反省点を生かし、私たちの活動をより発展させていく必要があると実感しました。

現在、本法人が今まで想像できなかった速さで教育の世界が変化していると感じています。それは、実際に教育を受ける子どもたちにとって困難であると共に、本法人を含めた学習支援を行う団体にとっても、新たな課題を突き付けられていると認識しています。特に、今後私たちが目指していく目標の一つとして、不登校児童の出席日数における弊害、縛りについて、当団体副理事であります弁護士葭原先生と協議を重ねながら、また、大泉中学校長先生にも教えを請いながら、全ての子どもが目標とする高校を選ぶお手伝いをしていきます。

支援する側がどれだけ時代に沿った Restudy ができるかということこそが、支援するという本質となっているのではないかと痛感しています。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

令和6年12月25日セミナーハウスにおいて、恒例のクリスマス会を開きました。本年は25日クリスマス当日のため、各家庭でのクリスマスイベントがあるので、参加者も少なくなると思っていたのですが、当日、いつもの参加者はもちろん、そのお友達もみんなでクリスマスを楽しみたいと集まってくれました。本当に素敵な子どもたちです。そして、皆それぞれに、自分たちの得意なことを披露してくれました。ピアノを弾く子、歌を歌ってくれる子、音楽に合わせてダンスを踊ってくれる子。まさにみんなで作るクリスマスのひとときでした。この笑顔がこれからの日本を作ってくれると思うと、しっかり守っていかなくてはという思いと、子ども達を支えてくださっている、樫の芽会様への感謝を強く感じました。ありがとうございました。最後に、助成金にて購入させていただきました、ワーク及び定期テスト対策の本にて勉強することにより、子ども達の点数の向上が皆に見られることに、私達一同感謝申し上げます。